

助産学校 合格おめでとう！

●2018年

上智大学・独協医科大学・首都大学・茨城県立医療大学・札幌市立大学・東京医療保健大学・帝京大学
日本赤十字看護学校・あびこ助産師専門学校・マロ二工医療福祉専門学校・母子保健研修センター・桐生大学
別科助産専攻科・佐久大学別科助産専攻科・埼玉医科短期大学助産専攻科・茨城県立中央看護助産専攻科・
近畿大学付属助産専攻科・高崎医師会看護学校助産学科・岩手看護短期大学助産科・中林病院助産師学校

上智大学助産学専攻科 T・Kさん

私は小さい頃から助産師になりたいという思いが強くありました。在学中の大学の助産師選抜コースに落ち、他大学の助産専攻科の受験を決意しましたが、どのように勉強していけば合格できるのかがわからず、インターネットで看創舎を見つけ、すぐに教室を訪れ、その日に入学しました。

私は4月から始まる助産コースを受講しようと考えていましたが、専攻科の入試は9月頃にあるため、2～8月に開講されている編入学コースを佐藤先生に勧めて頂き、受講していました。

看創舎に入る前は、看護学は殆ど丸暗記すればよいのだと考えていました。しかしながら、佐藤先生の授業は全て根拠に基づいており、ただ単語を暗記するのではなく、身体のメカニズムから考えながら覚えればよいのだということがわかりました。そのため身体や疾病、また法律などに関しても理解しながら覚えていくことができました。これは入試の応用問題に対応するためにも必須の力だと感じました。

英語は大学受験以来、手をつけてきませんでした。基礎から学ぶことができたため、短期間で長文を読む力を身につけられたと考えています。授業で習った医療分野で使われる英単語や言い回しはこれまで目にしたことのないものも多く、入試だけではなく今後にも役立てることのできる知識を身につけられたと感じています。小論文の授業は非常に面白く、毎回楽しみながら小論文を書く力を身につけていくことができました。自分の看護観や助産師になりたいという思いを文章化することで、改めて自分と向き合い、意思を強く持ち直すきっかけにもなったと感じています。

看創舎で授業を受けていなければ、勝ち取ることのできなかつた合格だと感じています。本当にありがとうございました。今後も看創舎で学んだ知識を活かして頑張ります。

獨協医科大学助産学専攻科 M・Mさん

合格発表当日、自分の番号があったときは涙が溢れ出ました。私は、助産師になりたくて看護の道に進みました。看護大学に入学しても、助産師課程への進学は狭き門だということは分かっていました。初めは独学で勉強していましたが、このままでいいのか不安になり、ネットで検索して看創舎を見つけました。先生の授業はとてわかりやすく、理解を深めていくことができました。看創舎の助力を得て、夢に近づくことができました。本当に、ありがとうございました。

首都大学東京助産学専攻科

茨城県立医療大学助産学専攻科 E・Mさん

私は、助産師になりたいと思っていましたが、自分だけで勉強することに不安を感じ看創舎に入りました。看創舎の授業では、勉強するにつれて自分の知識が繋がりと、しっかりと理解することができました。また小論文の授業では、物事に関してしっかりと考えて、自分の意見を伝える力がついたと思います。

先生方のおかげで、合格することができたと思います。勉強の仕方が分らなかつたり、1人で勉強することに不安があれば、看創舎に通うことがおすすめです！

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科助産学領域 T・Nさん

私は大学で母性看護学の学習をして以来、助産師に憧れを抱き、自分もその道に進みたいと大学院を目指すようになりました。しかし、自身で勉強習慣を確立することが上手くできず、予備校に通えば定期的に勉強する習慣が身につくと考え、入学しました。各講義テーマを解剖生理から丁寧に学習することができ、終了時には小テストもあるため、自分がどの分野が苦手なのか知ることが出来ました！

また、小論文は、学校ではなかなか学習する機会が無いため、入学試験の自己推薦書や面接対策に非常に役に立ち、面接でも焦らず自分の思いを伝える事ができました！

私は現役の看護学生であるため、大学院の入学試験と併せて、国家試験の学習も行なっていく必要がありますが、普段の講義や演習で基礎知識から系統的に学ぶことができるため、今後も学習を継続して国家試験の合格もつかめるよう努力していきます！助産師になりたいという目標に、一歩踏み出す事ができました、ありがとうございました！

東京医療保健大学助産学専攻科 S・Hさん

学生の頃から助産師になりたいと思っていたのですが、一度就職することにしました。働き出して数年、もう一度助産師を目指そうと看創舎に入りました。

佐藤先生の授業を聞いていると、看護の根拠を詳しく知ることができ、今まで看護師として働いていた自分が恐ろしくなるぐらいでした。しかし、看護学を一から学びなおしたことで、自信をもって働くこともできました。小論文は、先生の知識が幅広く、看護学を勉強していただいただけでは得ることのできない理論や情報、考え方を学ぶことができました。毎回提出した課題に対して、細かく改善策を指導していただいたおかげで試験本番でも、焦らず応用することができました。

英語は、私は中学校以来の勉強でとても苦労しました。中学・高校英語の基礎から初め、受験に間に合うのか？と思いましたが、最終的には、試験の問題を理解できたので、とても嬉しくなりました。調先生の前向きな指導や、日本語の使い方まで細かく間違っていること指摘していただけたので、自分の考え方や筆記の癖に気付くことができました。

仕事をしながらの受験生活は、体調を崩す事もありました。しかし、助産学校を受験したことは、今まで推薦だけで進学していた私にとって、とても貴重な経験となりました。

助産学校は本当に狭き門でした。合格できた時は信じられなくて、何度も何度も受験票の番号と合格通知を読み直して確認した程です。

先生方、本当にありがとうございました。

日本赤十字助産学校 T・Sさん

私は母性看護学実習をきっかけに、助産師になりたいと勉強を始めました。しかし、専門的な勉強や小論文の書き方など、自分一人では不安が大きかったので看創舎に入りました。授業では看護師国家試験に必要な知識の復習だけではなく、テキストや授業の知識を実際に学校での実習にも活かせることができました。塾では授業のなかで国家試験の傾向や助産学校のそれぞれの特徴など先生の長い経験からたくさんの知識を聞くことができるので自習学習もやりやすかったです。また、小論文では書き方の基礎から教えてもらったことで、制限時間内でも自分の意見や考え方をまとめるようになり、本番も慌てず書き終えることができました。

学校の中では受験する人も少なく、実習との両立など 1 人では不安になってしまうこともあります。受験では同じように受験する友達と情報交換をしたりお互いを励ましあったり出来たのも私はとても心強かったです。

合格が決まった時は本当に嬉しかったですし、また次のステップへ向けて頑張ろうというやる気にも繋がりました。夢に向かってこれからも頑張っていきたいです。本当にありがとうございました！